

群馬工業高等専門学校

令和5年度卒業式・修了式式辞

ただ今、群馬高専の卒業証書を授与された本科生 189 名の卒業生の皆さん、修了証書を授与された専攻科生 35 名の修了生の皆さん、卒業、修了おめでとうございます。教職員を代表して心からお喜び申し上げます。

また、入学以来今日までお子さまを支え励ましてこられた保護者の皆様、ご家族の皆様にも心からお祝い申し上げます。

さらに、ご多忙の中、この晴れの式典にご臨席賜りました群嶺テクノ懇話会会長の鈴木様、同窓会会長の細谷様、後援会会長の吉田様におかれましては、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生・修了生の皆さん。皆さんは、在学中、様々な経験をされたと思います。毎日の授業や実習・演習の他に、部活動にも参加し、工華祭や体育祭、社会見学旅行といった学校行事もありました。インターンシップへの参加や各種コンテストに向けた活動をされた人もいたでしょう。最終学年では、就職や進学に向けた活動をしながら、卒業研究・特別研究にも取り組みました。また、寮生だった方にとっては、寮での生活も、親元を離れての初めての集団生活であり、特に最初の内は戸惑うことも多かったのではないのでしょうか。

さらに、新型コロナウイルス感染症によって、様々な活動が制限された時期がありました。しかし、そのような中でも、皆さんは自分の力で、また友人と協力し、切磋琢磨しながら、さらには、教職員や保護者の方、インターンシップ先などでお世話になった学外の方からも指導や支援を受けながら頑張り抜いてきました。

その結果得られた知識、経験、想い、達成感や、もしかしたらほんの少しの挫折感、そして新たな目標。それら全てが皆さんが今手にしている卒業証書・修了証書に詰まっています。その重さは、皆さんの高専生活の重さでもあり、これから旅立つ新しいステージでのエネルギーとなります。ぜひ、今感じる重さを大切にしてください。

皆さんの在学中、科学技術面での大きなインパクトと言え、やはり生成 AI ということになるでしょう。

生成 AI はリスクや課題があることも確かですが、その使われ方や社会にもたらすインパクトを考えると、「AI がもたらす新しい自由と変化は、おそらく、産業革命やインターネット革命が生んだものよりずっと大きいものとなる」という評価はうなずけるものと考えます。

このA Iを巡る動向を見ていて、ふと気づいたことがございます。

それは、A Iプログラム単体だけでは十分に機能を発揮できないのではないかと、むしろ、メカニカルなものや制御・情報通信、さらにはシステムなど、何らかのものに組み込まれてこそ、その真価が発揮されるものなのではないかということです。

A Iそれ自体は確かに優秀です。そしてそれを生み出した技術者も素晴らしいと思います。

しかし、A Iを使って目の前の課題を解決し、製品をより良く改良し、新たな製品の開発に結びつけ、社会全体の様々な問題を解決していく技術者達も、A I開発者に負けないくらい素晴らしい存在ではないか。そしてこれはA Iに限らず、要素技術とその応用という点では、全ての研究開発でも同様ではないか。

そう考えたときに思い起こされたのが「最も得意とする工学の知識と異なる分野の工学の知識を融合することにより、専門分野を広い視野で捉えることができ、将来、より高度な技術的課題に取り組むことができる基礎能力を有する技術者を養成する。」という本校の教育目標でした。

「異なる分野の知識を融合し、広い視野で捉え、より高度な課題に取り組む」

このことは技術者として大切なありようであり、今も昔も、そして未来であっても、どんなに社会が変わったとしても、決して変わることはない、何よりも大切な技術者としてのありようだと思います。

そして、皆さんは群馬高専での学び、活動を通して、この技術者としてのありようを身につけ、今日、新たなステージへ旅立って行きます。

皆さんは、群馬高専で学んだこと、得たことを忘れることなく、これからも努力を続けられることでしょう。たとえその先に難しい課題が待ち受けていたとしても、挑戦し、乗り越え、さらにその先へ歩み続けていかれるものと確信しております。

皆さんが、新たな時代を、未来を創り上げていく技術者として活躍し続けていくことを祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

卒業、修了、おめでとうございます。

令和6年3月19日

群馬工業高等専門学校 校長  
三 谷 卓 也